

広報委員会

委員長：松尾 晋吾

1. 活動方針および活動目標

紙媒体（機関紙、広報誌等）およびWEB・SNSにおける利用者ニーズの把握および情報発信力を強化することにより、看護及び看護協会の広報や府民に対する看護事業の普及・啓発を行う。

2. 活動内容

実施項目 【開催場所】	内 容	開催回数	委員
広報委員会 【マルイトOBPビル】	1) 会員向け機関紙OSAKA看護だより」、府民向け広報誌「テアテ」の企画検討、提案 2) 入会促進の広報戦略の検討	全11回	12名

3. 活動実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催回数	参加者
OSAKA看護だより Vol. 154	1) 表紙 2) リレートーク「病院全体で人材育成 みんなで育てる、みんなで成長する」提案、検討	5月15日 発行	7名
OSAKA看護だより Vol. 155	1) リレートーク「私たちのPURPOSEである『より適切な医療と温かいところで、「あなた」と「地域」を支えます』の実現のために」提案、検討	7月20日 発行	7名
OSAKA看護だより Vol. 157	1) 広報委員会企画「今だから笑える失敗談」 看護師にエールを送る看護マンガ 提案、検討、意見集約	1月20日 発行	12名
テアテ Vol. 25	1) 新シリーズ：病院以外で働く看護師さんvol.1 (学校看護師) 提案	9月20日 発行	12名
テアテ Vol. 26	1) セルフケア通信「春バテ」に負けない！自律神経を整えて季節の変わり目の不調改善 提案、検討 2) シリーズ：病院以外で働く看護師さんvol.2 (看護学校の教員) 提案	3月20日 発行	12名
その他広報活動	1) 機関紙・広報誌の広報活動、意見集約 2) 各施設の協会イベント等の周知 3) ホームページリニューアルに向けての周知	—	12名

【活動の概要】

紙媒体については、今期から委員が小グループに分かれ情報交換を行い意見集約することで、より活発な意見交換が行われ、企画に反映できた。また、発行時期については約3か月情報を先取りし、新人に向けた記事の企画や府民の健康増進を目的とした『セルフケア通信』等、対象と目的を明確にするので、興味を持ち読みやすい内容になるよう工夫ができた。
ホームページのリニューアルに当たり、機関誌、広報誌との連携、またSNSを活用した情報発信の方法について意見交換ができた。

4. 課題・その他

- 1) 新入会員獲得にむけた更なる広報活動の充実
- 2) WEB・SNS 媒体を活用した情報発信力の向上
- 3) 利用者ニーズを満たすことのできる内容の企画検討